

【本資料は、2024年2月23日付で発表された Standard Chartered PLC 4Q'23 and FY'23 Results (一部抜粋) の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータード PLC—2023 年度第 4 四半期および 2023 年度の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は 2022 年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない「再編関連コスト」および「その他」の項目の内容は、原文「Standard Chartered PLC 4Q'23 and FY'23 Results」の 48～53 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループは 2023 年度もグループのフランチाइズの強みを発揮して優れた業績を実現し、有形資本利益率(RoTE)を 10%にするという財務目標を達成しました。今後はこの成果を土台としてさらに、収益拡大の推進とオペレーションのレバレッジの改善に重点を置きながら利益率を持続的に上昇させるためのアクションを実行し、2026 年度に 12%の RoTE を達成することを目指します。また、年間配当金を 50%増加させ、新たに 10 億ドルの自社株買いを発表した結果、2022 年 1 月以降の株主への総分配額は 55 億ドルに達しました。当行グループは今後 3 年間で合計 50 億ドル以上を株主に還元することを目標として、引き続き積極的にグループの資本を管理していきます。」

23 年度第 4 四半期の業績の概要 (別段の注記がない限り、比較の対象は 22 年度第 4 四半期)

- **営業収益**は 7%増収の 40億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは 7%の増収となりました。
 - － 純金利収入は 6%増の 24億ドル、非純金利収入は 8%増の 16億ドルとなりました。
 - － 純資金利ざやは 1.70%と前四半期から 3bp 拡大 (第 3 四半期の標準化された純資金利ざやは 1.67%) しました。これは主に資産構成の改善によるものです。
 - － ファイナンシャルマーケットは、市場のボラティリティーが低かったことから、為替変動の影響を除いたベースで 8%の減収となりました。
 - － ウェルスマネジメントは、富裕層新規顧客のオンボーディングと新規資金の純流入が引き続き好調だったため、為替変動の影響を除いたベースで 16%の増収となりました。
- **営業費用**は為替変動の影響を除いたベースで 2%増の 28億ドル、前四半期比では 1,600 万ドルの減少となりました。
- **信用減損**は前四半期から 2億 3,200 万ドル減の 6,200 万ドルとなりました。この中にはコンシューマー/プライベート/ビジネスバンキング部門 (CPBB) における貸倒引当金の繰入 1億 3,100 万ドルが含まれていますが、その一部は、法人営業・コマーシャルバンキング部門 (CCIB) における 1億 500 万ドルの貸倒引当金の純戻入れによって相殺されました。
 - － ハイリスク・アセットは 23 年 9 月 30 日から 12 億ドル増の 106 億ドルとなりました。これは主に、現行のソブリンエクスポージャーでリスクを上昇させずに投資対象を変更したことによるものです。
- 為替変動の影響を除いたベースでの **特別要因調整後の税引前利益**は、74%増益の 11 億ドルとなりました。
- **営業権および他の減損費用**の 1億 5,300 万ドルは、当行グループによる中国渤海銀行への出資簿価の低下を反映しています。
- **その他の項目**の 2億 6,200 万ドルには、航空機ファイナンス事業の純売却益が反映されています。
- **当行グループのバランスシート**は引き続き健全で流動性が高く、十分に分散されています。
 - － 顧客向け貸付金その他の金銭債権は 23 年 9 月 30 日から 60 億ドル (2%) 増の 2,870 億ドル、特別要因調整後ベースでは 50 億ドル (2%) の減少となりました。
 - － 顧客預金の残高は 23 年 9 月 30 日から 160 億ドル (4%) 増の 4,690 億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは 100 億ドル (2%) の増加となりました。
 - － 流動性カバレッジ・レシオは 145% (23 年 9 月 30 日時点では 156%) と過去の水準に戻り、預貸率は 53.3% (同 54.5%) となっています。
- **リスク・アセット**は 23 年 9 月 30 日から 30 億ドル (1%) 増の 2,440 億ドルとなりました。
 - － 信用リスク・アセットは 30 億ドル増加しました。資産構成の変化や信用カテゴリーの変更が増加の原因となりましたが、効率化の取り組みや航空機ファイナンス事業の売却の影響によって、一部相殺されました。
- **当行グループは引き続き盤石な自己資本を有しています。**
 - － 普通株式等 Tier1 比率 (CET1) 比率は 14.1% (23 年 9 月 30 日時点では 13.9%) と、13～14% の目標レンジを上回っています。
 - － 近く開始される 10 億ドル相当の自社株買いによって、CET1 比率は約 40bp 低下する見込みです。

23 年度の業績の概要 (別段の注記がない限り、比較の対象は 22 年度)

- **有形資産利益率 (RoTE)**は、2ポイント上昇して 10.1% になりました。
- **営業収益**は 10%増収の 174 億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは 13%の増収となりました。
 - － 純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで 23%増の 96 億ドル、純資金利ざやは 26bp 拡大して 1.67%、非純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで 2%増の 78 億ドルとなりました。
 - － ファイナンシャルマーケットは為替変動の影響を除いたベースで 2%の減収、22 年度に計上された債務の時価評価 (MTM) による一過性の収益 (2億 4,400 万ドル) を考慮しなければ 3%の増収となりました。
 - － ウェルスマネジメントは富裕層新規顧客のオンボーディングと新規資金の純流入に関する堅調な先行指標に支えられ、為替変動の影響を除いたベースで 10%の増収となりました。

- ・ **営業費用**は7%増の110億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは8%増となりました。物価上昇、ビジネスの成長、ターゲットを絞った投資が、一部は生産性の向上によって相殺されたものの、費用増加の原因となりました。
 - － 23年度の収益の伸び率は費用の増加率を4%上回りました。費用対収益率は2ポイント上昇して63%となりました。
- ・ **信用減損**は3億800万ドル減の5億2,800万ドルとなりました。信用損失率は年率換算で4bp低下し、17bpとなりました。
- ・ **中国商業用不動産向けローン**:総予想貸倒引当金は12億ドル、ステージ3のエクスポージャーは14億ドル(担保を含む不良貸付貸倒引当率は88%)あり、マネジメント判断による調整額が1億4,100万ドル残っています。
- ・ **特別要因調整後の税引前利益**は、為替変動の影響を除いたベースで、27%増益の57億ドルになりました。
- ・ **営業権および他の減損費用**の8億5,000万ドルは、主に中国渤海銀行への出資簿価の低下を反映したものです。
- ・ **税金**は16億ドルとなり、特別要因調整後の実効税率は29%と、1ポイント低下しました。
- ・ **最終配当金案**の5億6,000万ドル(1株当たり21セント)が承認された場合には、年間配当金は50%増の7億2,800万ドル(同27セント)となります。
- ・ **特別要因調整後ベースの1株当たり利益(EPS)**は31.0セント(32%)増加して128.9セント、報告ベースのEPSは22.7セント(26%)増加して108.6セントとなりました。
- ・ **1株当たり純有形固定資産額**は144セント(12%)増加して1,393セントとなりました。

別段の記載がない限り、23年度時点における、2022～2024年度の戦略的アクションの進捗状況

- ・ **法人営業・コマーシャル・バンキング部門(CCIB)におけるリターン**の向上:リスク・アセット対比収益率は、6.5%の目標をおいた2024年度に先立って7.8%に達しています。22年年初以来240億ドルのリスク・アセットを削減し、計画より1年前倒しで、220億ドルの削減目標を超えました。
- ・ **コンシューマー・プライベート・ビジネス・バンキング部門(CPBB)における収益性の転換**:費用収益比率は前年同期から9ポイント改善して60%となり、1年前倒しで目標の60%を達成しました。総費用削減額は2022-2024年度の目標を5億ドルとしていましたが、22年年初来ですでに4億ドルに達しています。
- ・ **中国における機会の獲得**:中国のオンショアおよびオフショア事業の税引前利益は13億ドルと、前年度の3倍に増加し、14億ドルの目標を1年前倒しでほぼ達成しました。
- ・ **オペレーションのレバレッジの創出**:2022～2024年度の費用削減額の目標を13億ドルとしていましたが、生産性の向上により、すでに22年年初から総額9億ドルの費用を削減しました。費用収益比率は前年度から2ポイント改善して63%となりました。同比率の2024年度の目標は60%としています。
- ・ **潤沢な株主還元**:22年年初来発表された分配金は合計55億ドルに達し、2022-2024年度の目標である50億ドルを前倒しで上回りました。

その他の追加情報

- ・ **航空機事業からの撤退**:航空機ファイナンス事業の売却が2023年11月までに完了し、これにより、23年度第4四半期の普通株式等Tier 1比率(CET1比率)は20bp上昇しました。
- ・ **サステナビリティ**:サステナブルファイナンスによる収益は前年比42%増収の7億2,000万ドルとなりました。21年年初から23年9月30日までにサステナブルファイナンスに動員した金額は870億ドルにのぼります。
- ・ **アフリカ・中東からの撤退**:レバノン駐在員事務所を閉鎖、ヨルダン支店の売却を完了し、残りの7事業を売却する契約を締結しました。

より高い利益率を持続的に実現するためのさらなるアクション

- ・ 力強い収益の拡大
 - － 純金利収入は2024年度以降も成長が見込まれます。
 - － ファイナンシャルマーケットとウェルスマネジメントが非純金利収入の2つの原動力となります。
- ・ Fit for Growthと名付けられたプログラムを通じたオペレーションのレバレッジの改善
 - － 当行グループの主要な要素の簡素化、標準化、デジタル化を目指します。
 - － 収益を維持しながら、構造的な非効率性や複雑性に対処します。
 - － 生産性、および顧客と従業員のエクスペリエンスを向上させます。
 - － 拡大する成長イニシアティブに再投資する能力を創出します。
- ・ 株主への十分な資本の還元

ガイダンス

当行グループは2024年度のガイダンスを更新し、2025年度と2026年度のガイダンスを以下の通り追加しました。

- ・ **収益**:
 - － 営業収益は2024年度から2026年度までに5～7%増益、2024年度には5～7%の範囲の上限近くの増益を予想します。
 - － 為替変動の影響を除いたベースで、2024年度に100億～102億5,000万ドルの純金利収入を達成する見通しです。
- ・ **費用**:
 - － 為替変動の影響を除いたベースで、2026年度の営業費用は120億ドル未満に抑えられるとみています。
 - － 2024年度から2026年度にかけて、費用は約15億ドル削減され、コストは15億ドル以下に抑えられる見通しです。
 - － 2024年度から2026年度まで毎年、為替変動の影響を除いたベースで、英国銀行税を除く収益の増加率は費用の増加率を上回ると予想します。

- 資産とリスク・アセット:
 - 2024年度から2026年度まで毎年、顧客向け貸付金その他の金銭債権とリスク・アセットの増加率は1桁台前半となると予想します(バーゼル3.1の当初影響の考慮前)。
 - バーゼル3.1の当初の影響は、今後明確になるルールの内容次第ですが、リスク・アセットは5%以上増加しないと予想します。
- 30bpから35bpの範囲のサイクルを通じて、過去の水準に向けて信用損失率が正常化するとの予想を維持します。
- 資本:
 - CET1比率が13~14%の目標範囲内にとどまるように引き続き管理します。
 - 2024年度から2026年度にかけて、累積で50億ドル以上を株主に還元する予定です。
 - 一株当たり年間配当を継続的に増配します。
- 有形資本利益率(RoTE)は2026年度に12%を目指して10%から着実に上昇し、以後も上昇を続けると予想します。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は1ドルの1/100を意味します。

本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、パングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムが含まれ、「アフリカ中東(AME)」には、バーレーン、ボツワナ、コートジボワール、エジプト、ガーナ、イラク、ケニア、レバノン、モーリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビアを含みます。また「ヨーロッパ」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フオーランド諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国を含みます。

本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。

スタンダードチャータードPLCはイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータードPLCの株式の銘柄コードは HKSE 02888 およびLSE STANLNです。

【参考記に関するご留意事項】この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	2023年度 (百万米ドル)	2022年度 (百万米ドル)	増減 ¹ (%)
特別要因調整後ベースの業績⁶			
営業収益	17,378	15,762	10
営業費用	(11,136)	(10,409)	(7)
信用減損	(528)	(836)	37
その他減損費用	(130)	(39)	nm ⁹
関係会社利益	94	167	(44)
税引前利益	5,678	4,645	22
普通株主に帰属する利益 ²	3,581	2,903	23
普通株主有形資本利益率(%)	10.1	7.7	240bps
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	63.4	65.4	195bps
報告ベースの業績⁶			
営業収益	18,019	16,318	10
営業費用	(11,551)	(10,913)	(6)
信用減損	(508)	(836)	39
営業権および他の減損費用	(1,008)	(439)	(130)
関係会社利益	141	156	(10)
税引前利益	5,093	4,286	19
税金	(1,631)	(1,384)	(18)
当期利益	3,462	2,902	19
親会社株主に帰すべき利益	3,469	2,948	18
普通株主に帰すべき利益 ²	3,017	2,547	18
普通株主有形資本利益率(%)	8.4	6.8	160bps
費用収益比率(%)	64.1	66.9	280bps
純資金利ざや(%) ⁷ (調整後) ⁷	1.67	1.41	26bps
バランスシートと資本			
総資産	822,844	819,922	—
総資本	50,353	50,016	1
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ²	36,098	37,186	(3)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	286,975	310,647	(8)
顧客口座	469,418	461,677	2
リスク・アセット	244,151	244,711	—
総自己資本	51,741	53,151	(3)
総自己資本比率(%)	21.2	21.7	(50)bps
普通株式等Tier 1	34,314	34,157	—
普通株式等Tier 1比率(%)	14.1	14.0	10bps
預貸率(%) ³	53.3	57.4	(410)bps
流動性カバレッジ率(%)	145.0	147.0	(200)bps
レバレッジ率(%)	4.7	4.8	(10)bps
	セント	セント	増減 ¹
普通株式1株当たりの情報			
1株当たり利益—特別要因調整後ベース ⁴	128.9	97.9	31.0
— 報告ベース ⁴	108.6	85.9	22.7
1株当たり純資産額 ⁵	1,629	1,453	175
1株当たり純有形固定資産 ⁵	1,393	1,249	144
期末時点の普通株式数(百万株)	2,637	2,867	(8)

- 1 資産、債務、リスク・アセット以外については、「増減」は改善(悪化)を示します。総自己資本比率(%), 普通株式等Tier 1比率(%), 純資金利ざや(%), 預貸率(%), 流動性カバレッジ率(%), 英国レバレッジ率(%)については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。
- 2 「普通株主に帰すべき利益/(損失)」は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 3 本比率の算出にあたっては、「顧客向け貸付金その他の金銭債権」の総額には、リバース・レポ契約等担保貸付金、およびストレステスト時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を含んでおらず、一方で、「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権」は含みます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含みます。
- 4 特別要因調整後ベースまたは報告ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。
- 5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。
- 6 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域からの撤退、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) 債務評価調整(DVA)を除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。
- 7 「純資金利ざや」は調整後の純金利収入を平均利付資産額で割り、年率換算した数値です。
- 8 本中間財務報告書における「報告ベースの業績」とは、英国において採用されているIASおよびEU IFRSに基づいて報告される金額を意味します。過年度においては、「報告ベースの業績」は「法定ベースの業績」として記載されていました。
- 9 僅少

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

	2023年度				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー部門	その他	合計
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)
営業収益	11,218	7,106	156	(1,102)	17,378
外部収益	8,543	3,902	157	4,776	17,378
セグメント間収益	2,675	3,204	(1)	(5,878)	—
営業費用	(5,627)	(4,261)	(429)	(819)	(11,136)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	5,591	2,845	(273)	(1,921)	6,242
信用減損	(123)	(354)	(85)	34	(528)
その他減損費用	(32)	(4)	(26)	(68)	(130)
関連会社およびジョイントベンチャーからの(損失)/利益	—	—	(24)	118	94
特別要因調整後の税引前利益(損失)	5,436	2,487	(408)	(1,837)	5,678
再編関連コスト	32	(60)	(4)	18	(14)
営業権および他の減損費用 ¹	—	—	—	(850)	(850)
DVA	17	—	—	—	17
その他 ⁴	262	—	—	—	262
報告ベースの税引前利益(損失)	5,747	2,427	(412)	(2,669)	5,093
総資産	403,058	128,768	4,009	287,009	822,844
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	189,395	126,117	1,035	28,939	345,486
顧客向け貸付金その他の金銭債権	130,897	126,104	1,035	28,939	286,975
損益を通 じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	58,498	13	—	—	58,511
総債務	464,968	200,263	3,096	104,164	772,491
うち顧客口座 ³	328,211	195,678	2,825	7,908	534,622
リスク・アセット	141,979	51,342	1,923	48,907	244,151
リスク・アセット対比収益率(%)	7.8	14.0	10.3	(2.2)	28.6
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	19.5	25.3	nm ⁵	(27.0)	10.1
費用収益比率(%)	50.2	60.0	nm ⁵	nm ⁵	63.4

1 「営業権および他の減損費用」には、当行グループの関連会社である中国渤海銀行への投資に關係する信用コスト8億5,000万ドルを含みます。

2 「損益を通 じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、リバース・レポ契約の512億9,900万ドルを含みます。

3 「顧客口座」には、FVTPLで保有される口座の172億4,800万ドル、リバース・レポ取引の口座の479億5,600万ドルを含みます。

4 「その他」の項目には、航空機ファイナンス事業の売却を含みます。このうち、リース事業の売却益は3億900万ドル、航空機ローンのポートフォリオ売却に關係する損失は4,700万ドルでした。

5 僅少

補足財務情報(前頁続き)

	2022年度 ¹				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 (百万米ドル)	コンシューマー・ プライベート/ ビジネスバンキング 部門 (百万米ドル)	ベンチャー部門 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	9,608	5,969	29	156	15,762
外部収益	8,462	4,942	29	2,329	15,762
セグメント間収益	1,146	1,027	—	(2,173)	—
営業費用	(5,193)	(4,104)	(336)	(776)	(10,409)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	4,415	1,865	(307)	(620)	5,353
信用減損	(425)	(262)	(16)	(133)	(836)
その他減損費用	—	(10)	(24)	(5)	(39)
関連会社およびジョイントベンチャーからの(損失)/利益	—	—	(16)	183	167
特別要因調整後の税引前利益	3,990	1,593	(363)	(575)	4,645
再編関連コスト	14	(56)	(1)	(56)	(99)
営業権および他の減損費用 ²	—	—	—	(322)	(322)
DVA	42	—	—	—	42
その他	—	—	—	20	20
報告ベースの税引前利益(損失)	4,046	1,537	(364)	(933)	4,286
総資産	401,567	133,956	2,451	281,948	819,922
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	184,254	130,985	702	41,789	357,730
顧客向け貸付金その他の金銭債権	139,756	130,957	702	39,232	310,647
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ³	44,498	28	—	2,557	47,083
総債務	479,981	185,396	1,658	102,871	769,906
うち顧客口座 ⁴	332,176	180,659	1,548	5,846	520,229
リスク・アセット	143,582	50,730	1,358	49,041	244,711
リスク・アセット対比収益率(%)	6.2	11.4	4.2	0.3	6.1
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	13.4	15.8	nm ⁵	(14.2)	7.7
費用収益比率(%)	54.0	68.8	nm ⁵	nm ⁵	65.4

¹ 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) DVAを除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。

² 「営業権その他の減損費用」には、当行グループの関連会社である中国渤海銀行への投資に開床する3億900万ドルの減損費用を含みます。

³ 「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、リバース・レポ契約の405億3,700万ドルを含みます。

⁴ 「顧客口座」には、FVTPLで保有される口座の117億600万ドル、リバース・レポ取引の口座の468億4,600万ドルを含みます。

⁵ 僅少

補足財務情報

地域別の特別要因調整後の業績

	2023年度				
	アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	12,429	2,806	1,397	746	17,378
営業費用	(7,096)	(1,571)	(1,733)	(736)	(11,136)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	5,333	1,235	(336)	10	6,242
信用減損	(644)	91	19	6	(528)
その他減損費用	(63)	(15)	(13)	(39)	(130)
関連会社およびジョイントベンチャーからの利益(損失)	114	—	—	(20)	94
特別要因調整後の税引前利益(損失)	4,740	1,311	(330)	(43)	5,678
再編関連コスト	(97)	(2)	32	53	(14)
営業権および他の減損費用 ¹	(850)	—	—	—	(850)
DVA	(16)	26	7	—	17
その他 ⁴	35	(18)	263	(18)	262
報告ベースの税引前利益(損失)	3,812	1,317	(28)	(8)	5,093
総資産	505,905	54,140	253,410	9,389	822,844
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	256,400	25,870	63,216	—	345,486
顧客向け貸付金その他の金銭債権	233,417	22,774	30,784	—	286,975
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	22,983	3,096	32,432	—	58,511
総債務	461,568	40,612	181,417	88,894	772,491
うち顧客口座 ³	377,020	33,059	124,543	—	534,622
リスク・アセット	155,995	38,393	46,106	3,657	244,151
リスク・アセット対比収益率(%)	8.1	7.1	2.8	19.5	28.6
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	16.4	16.6	(3.6)	nm ⁶	10.1
費用収益比率(%)	57.1	56.0	124.1	nm ⁶	63.4

	2022年度 ⁵				
	アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	10,912	2,460	2,303	87	15,762
営業費用	(6,675)	(1,551)	(1,548)	(635)	(10,409)
クレジットコスト・税引前営業利益(損失)	4,237	909	755	(548)	5,353
信用減損	(790)	(119)	78	(5)	(836)
その他減損費用	(10)	2	1	(32)	(39)
関連会社およびジョイントベンチャーからの利益(損失)	179	—	—	(12)	167
特別要因調整後の税引前利益(損失)	3,616	792	834	(597)	4,645
再編関連コスト	(46)	21	(13)	(61)	(99)
営業権および他の減損費用 ¹	(308)	—	—	(14)	(322)
DVA	20	8	14	—	42
その他	20	—	—	—	20
報告ベースの税引前利益(損失)	3,302	821	835	(672)	4,286
総資産	488,399	53,086	268,960	9,477	819,922
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	270,892	23,857	62,981	—	357,730
顧客向け貸付金その他の金銭債権	257,171	21,570	31,906	—	310,647
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	13,721	2,287	31,075	—	47,083
総債務	441,349	40,902	219,701	67,954	769,906
うち顧客口座 ³	346,832	31,860	141,537	—	520,229
リスク・アセット	150,816	40,716	50,174	3,005	244,711
リスク・アセット対比収益率(%)	6.7	5.5	4.5	4.0	6.1
特別要因調整後の有形資本利益率(%)	11.9	9.3	8.6	nm ⁶	7.7
費用収益比率(%)	61.2	63.0	67.2	nm ⁶	65.4

1 「営業権および他の減損費用」には、当行グループの関連会社である中国渤海銀行への投資に關係する信用コスト8億5,000万ドル(2022年度は3億900万ドル)を含みます。

2 「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、リバース・レポ契約の512億9,900万ドル(2022年度は405億3,700万ドル)を含みます。

3 「顧客口座」には、FVTPLで保有される口座の172億4,800万ドル(2022年度は117億600万ドル)、リバース・レポ取引の口座の479億5,600万ドル(2022年度は468億4,600万ドル)を含みます。

4 「その他の項目」には、航空機ファイナンス事業の売却を含みます。このうち、リース事業の売却益は3億900万ドル、航空機ローンのポートフォリオ売却に關係する損失は4,700万ドルでした。

5 2022年度の該当期における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) DVAを除いて修正されています。報告ベースの業績については変更はありません。

6 僅少